

2026年3月29日(日)

日本基督教団 大宮教会
大宮教会ビジョン
「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書 28:19-20)

受難節第6主日

棕櫚の主日

朝第1礼拝 9:00~10:00

朝第2礼拝 10:30~11:45

夕礼拝 18:00~19:00

<神の招き> 前 奏

- ① 主キリストよ、われらを顧みたまえ J.S.バッハ
- ② ああ主よ、哀れな罪びと我を ブクステファーデ
- 我が命なるキリスト ヴァルター

招きの詞 ゼカリヤ書9:9~10

交読詩編 24:1~10

讚美歌 16

<神の言葉> 聖書

イザヤ書53:1~12 (旧約 聖書協会共同訳 1134頁)

ヨハネによる福音書18:38b~19:7

(新約 聖書協会共同訳 201頁)

祈 禱
讚美歌 298

説教 「この人を見よ」 熊江秀一牧師

祈 禱
黙 想
讚美歌 280

<神への応答> 使徒信条

献金

主の祈り

宣教報告

頌栄 29

派遣と祝福
後 奏

- ① 天にいます、われらの父よ J.S.バッハ
- ② イエス、十字架につき給いしとき バッハ
- おお人よ、罪の大いなるを嘆け バッヘルベル

宣教報告①

今週の御言葉

イエスは茨の冠をかぶり、紫の衣を着て、出て来られた。ピラトは、「見よ、この人だ」と言った。祭司長たちや下役たちは、イエスを見ると、「十字架につける、十字架につける」と叫んだ。

(ヨハネによる福音書19章5~6a)

次週の礼拝(4月5日) イースター礼拝・聖餐式・洗礼式(II)

① 9:00 ② 10:30

説教「主の復活から始めよう」熊江秀一牧師

詩編30:2~6、

ヨハネによる福音書20:1~18

交読詩編118:13~29

讚美歌21、326(奉唱331)、67(II)、325、81、29

18:00

説教「新しい命に生きる」佐藤潤伝道師

詩編16:7~11、

ローマの信徒への手紙6:1~11

交読詩編118:13~29

讚美歌15、333、452、81、25

■今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 受難週の歩みの為に
4. 受難週祈祷会と長老の奨励奉仕の為に
5. イースター礼拝の為に
6. イースター愛餐会の為に
7. 今年度の恵みに感謝して
8. 新年度の宣教の為に
9. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、イラン、世界の平和の為に
10. 病気の兄姉の為に

＊関東教区お祈りカレンダー 在日大韓磐石教会 在日大韓つくば東京教会 在日大韓水戸教会

◇先週の説教より「愛の内に成長する」エフェソの信徒への手紙4章7～16節、詩編68編1～5節 佐藤潤伝道師

キリストの体である教会は、神の愛の内に成長していくものとされている。その出発点は、復活し昇天された主イエス・キリストが教会に賜物を与えてくださったことにある。私たち個人に与えられている賜物は、教会という一つの体を建てるためである。

教会には「使徒、預言者、福音宣教者、牧者、教師」といった働きが聖霊の賜物として与えられている。その目的は「聖なる者たちを整えて奉仕の働きをさせる」ことにある。すべての信徒がみ言葉によって養われ、信仰が整えられ、それぞれの賜物をもって仕えるとき、教会は成長していくからである。そのために必要なのが「信仰と神の子の知識において一つとなる」ことである。すなわちキリストに対する共通の一つの信仰に立ち、心と体全体でキリストを知る歩みにおいて一致することである。

信仰が未熟なままであると、人は「子ども」のように不安定で、さまざまな教えに振り回されてしまう。

だからこそ教会は、「愛によって真理を語る」ことによって成長していくのである。真理とは主イエスに示される神の救いである。真理と愛が結びつくとき、信仰は知識ではなく、実際の生き方となって現れる。

成長は頭であるキリストに向かうと同時に、その力もキリストから与えられる。教会は、キリストから命を受け取りながら、「それぞれの部分が分に応じて働く」ことで建て上げられていく。指導者の働きと信徒一人ひとりの奉仕が結び合わされ、全体が一つの体として成長する。

このすべてを結び合わせ、成長させる力が愛である。愛は教会を生かす命。命は愛という形で教会全体を流れている。この愛による絆の中で、各部分である私たちが互いに支え合い、ハーモニーを奏できるように働くとき、教会はキリストの体として、愛の内に生き生きとダイナミックに成長していくのである。

*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈禱当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、☑は夕礼拝。